

# 龍ヶ崎の秋・10 鵬

平成23年 9月26日発行

発行 龍ヶ崎市回想法センター

龍ヶ崎市平台5-9-7

電話・FAX 0297-65-4443

e-mail pia-kaiso@etude.ocn.ne.jp

h p www16.ocn.ne.jp/~piakaiso

## 天高く馬肥える秋が来ました

### 稲刈りをしました

### 考えさせられました



台風の影響で稲も倒れてしまいましたが、24日(土)稲刈りをしました。三々五々集まってきた仲間と猫の額ほどの田んぼの稲刈りは、鎌を持つ手よりも、口のほうがよく動きます。昨年までは、刈り取った稲は、麻紐で束ねていましたが、今年は、子どもどころ家業の農業を手伝っていた方が加わり、藁で刈り取った稲を束ねました。ほどよい汗をかく頃には稲刈りも終了。刈り取った後の田んぼに、孟宗竹でおだを組み、稲をかけて行きます。高齢者の方が「おだ掛けした米はうまい、米は天日干しに限る」という話をよく耳にします。天の恵みの恩恵を受けた米の味には、農耕で生計を立ててきた先人の知恵を感じます。

さて、今年は、田んぼに集まってくる皆様から、どんな話が聞けるのでしょうか？楽しみです。

私事ですが・・・母(96歳)が体調を崩し入院し、人工呼吸器を付けました。装着から4日目には自力呼吸ができ、人工呼吸器もはずされ一般病棟に移されました。しかし、新しい環境に馴染めず、紙おむつに排泄を嫌がる母は、極度の便秘になりました。ナースコールのボタンが理解できず、トイレへの不安から頻尿にもなりました。

精神的に不安定な状況になり、問題行動をするとう個室に移され家族が見守ることに。家族には、精神的にも経済的にも大きな負担となつてのしかかってきました。

家族で、延命治療はしないと決めており、「家に帰りたい」母の強い希望で、我が家に戻ってきました。病院では、精神安定剤のご厄介になっていた母も、薬を使わなくても快眠です。頻尿も治まり、毎日、スムーズに排便もできています。88才の時にわかつた大動脈弁狭窄症が、今回の入院で重度になっています。ベッドの上で安静に暮らすしか方法のない母ですが、家族の声のする中で暮らせることが、母には一番の薬のように感じています。「障害者になつても、認知症になつても、残された機能を生かして、在宅で自分らしく輝いて暮らそう」が私たちの活動のモットーです。在宅で暮らすには、「心が元気でないといけない」を、実感させられました。

## 10月の予定

回想ガイド活動は、4日(火)7日(金)、18(火)、21(金)

昔の遊び体験教室は、22日(土)足踏み脱穀機で脱穀の予定

開催場所は、歴史民俗資料館

開催時間は、13時30分～15時30分です